



えんぶり

国立病院機構八戸病院

発行元:独立行政法人国立病院機構八戸病院
National Hospital Organization
Hachinohe National Hospital
〒031-0003 八戸市吹上3丁目13番1号
TEL 0178-45-6111 FAX 0178-43-7814
ホームページ
<http://www.hosp.go.jp/~hachinohe/>

平成30年11月発行 第67号



吹上公民館まつり (健康相談) に参加して

調理師長 北川 優子

10月7日(日曜日)晴天の中、吹上公民館祭りが開催され、八戸病院は看護部と栄養管理室共同で健康相談コーナーを担当し、血圧測定・酸素分圧測定・体組成測定・栄養相談等を実施しました。

小さなお子様から90代の御高齢の方まで合わせて150名弱の参加があり、順番表に記入していただきながら実施しましたが、10脚準備した椅子が常時空くことはなく、立っていた方もいる程の大盛況となりました。台風の過ぎ去った蒸し暑い館内では順番待ちの方に対して、栄養相談や脱水予防のため飲料やゼリーを配布して効果・効能などの説明も行い、和気藹々とした雰囲気になりました。

数十秒で簡単に出来る体組成測定で、参加者の方々は測定結果を見て、「去年も一昨年も参加して測定したので、測った数値を大事にとっています。毎年、注意点を細かく説明してもらえるので、助かります」

「普段は歩いたり、食べ物にも気を付けていたのに…」

「健康番組のテレビを観たりしながら健康に気をつけていたのに…」

「他の病院に行った際、食事に気を付けましょう!と簡単に言われる事が多いけれど、細かく説明してもらえなかったのが、どんな食事が良いのか分からなかったのが、教えてほしい」といった声が多く、地域の方々の健康意識の高さが伝わってきました。

参加者の方々からは、血圧測定、体組成測定結果(筋肉量・体脂肪量等)

に基づいた健康相談や栄養相談をその場で受けられるのが、とても好評でした。

健康相談を通じて、地域の方々と触れ合うことができ、充実した一日を過ごすことが出来ました。これからも、地域の方々が笑顔で過ごせるような、健康増進への取り組みを続けていきたいと思っています。



基本理念

私たちは
すべての患者さまとご家族に
信頼され満足していただける
確かな医療と生活支援を
めざしております

基本方針

- 一 病院組織の運営と地域における役割を果たします
- 二 患者さまの権利と安全の確保に努めます
- 三 療養環境と患者サービスに努めます
- 四 診療の質の確保に努めます
- 五 看護の適切な提供をいたします
- 六 病院運営管理の合理化に努めます

目次:

吹上公民館まつり(健康相談)に参加して 1
調理師長 北川 優子

納涼会を終えて 2
児童指導員 本間 理紗

ダイバーシティに係る講演会を終えて 2
庶務班長 松本 宣仁

平成30年度 消防訓練の実施について 3
管理課長 坂本 淳

青年共同宿泊研修を終えて 3
作業療法士 藤田 諒

外来担当医表 4

病院案内 4

編集後記 4





納涼会を終えて



児童指導員 本間 理紗

去る9月19日、納涼会が4階プレイホールで行われました。

院長の挨拶で始まり、今年は八戸市にあるジムフィットネスから「ジャザサイズ」というものを披露していただきました。ジャザサイズとは、「心拍数を上げ、ビートに合わせてボディを燃焼させるフィットネスプログラム」です。まずはウォーミングアップから始まり、気が付けば内容はどんどん激しくハードに…。ご家族やスタッフも音楽に合わせて体を動かし、中には額に汗を浮かべている人もいました。

気持ちよく体を動かした後は、恒例のヨーヨーやくじ引き、アイスやジュースを口にして皆さん楽しく納涼会を過ごされていました。

今年も無事に納涼会を終えることができました。ボランティアの方々を始め関係者の皆様本当にありがとうございました。



ダイバーシティに係る講演会を終えて

庶務班長 松本 宣仁

さる平成30年9月11日（火）に一般社団法人日本ヘルスケアダイバーシティ学会の森照明先生及び栗秋良子先生を講師に迎えて、ダイバーシティに係る講演会を開きました。森照明先生には、「国立療養所西別府病院2001年～2008年立て直し奮闘記」、栗秋良子先生からは、「ヘルスケア領域にダイバーシティ理念導入の意義」という演題でそれぞれご講演していただきました。まず栗秋先生から講演をしていただき「ダイバーシティ」とは？という言葉の意味から説明していただきました。恥ずかしながら、説明を受ける前は、「ダイバーシティ？」海に潜るようなものと勝手に解釈して、何のことやらと思っていましたが、栗秋先生の分かりやすい説明で、組織において重要な要素ということが分かることができました。（本当に分かったかは怪しいが。）続いて、森照明先生からは、「ちょっと前の話ですが」という前置きをいただきましたが、森先生が西別府病院の院長時代に、病院、組織の意識改革を行ったというプロセスを初め、時折笑いを交えるなど楽しいと言っては失礼かも知れませんが、とても有意義な時間を頂きました。お二人のご講演は、当院の今後の運営に関してとても意味のあるものと思います。あらためてありがとうございました。

平成30年度 消防訓練の実施について

管理課長 坂本 淳

去る、平成30年9月28日（金）に昨年に引き続き、水消火器や散水栓操作盤を使用した部分消防訓練を実施しました。研修は、今後実施予定の総合訓練に備え、新規採用者や転任者など、まだ消火器等を実際に使用したことがない職員を中心に実施しました。

毎週のように発生する台風と秋雨前線の影響で天候が芳しくなく、訓練の実施が危ぶまれたが、開催予定時刻には雨は止み、支障なく実施することができました。

散水栓操作盤を使用した消火訓練では、保守点検を委託する業者から使用方法の説明を受け、実際に屋外にて自身による操作により放水を実施し、肌で放水による水圧等を体験してもらいました。

また、水消火器による消火訓練では、消火器の仕組みや取り扱いの説明を受け、ひとり一人が標的を見立てて水消火器を操作してもらいました。いずれの消火訓練も放水する際の姿勢や角度など頭では理解していても実際に思った通りにはならず、訓練の重要性を実感してもらいました。

なお、今回の訓練は消火訓練に加え、病棟の避難口や避難経路、病院が指定する避難場所の確認もしてもらい、実際の出火場所によって、避難口や避難経路、避難場所を選択して患者を安全かつ速やかに避難誘導する必要があることを認識してもらいました。



青年共同宿泊研修を終えて

作業療法士 藤田 諒

9月4日～7日に国立病院機構の各グループより事務職・看護師・薬剤師などの他職種が集まる青年共同宿泊研修に参加してきました。この研修ではグループワークやコミュニケーション研修、富士登山や屋外炊飯などの活動を通して他職種の連携をどのように深めていくかという目的で毎年行われています。

グループワークなどでは皆始めこそは初対面の方ばかりのため、緊張して上手く話せていないような印象でしたが、徐々に緊張もほぐれ始め、活発に意見を出し合ったりやお互いの病院のことなどを話しあう様子が見られました。

富士登山では先日の台風22号の影響で登山自体も危ぶまれていましたが、天気に恵まれ無事行うことができました。私を含めて登山の経験が無い人が多く、急斜面や強風などに疲れを見せる人が多くみられましたが、どのグループも班員ごとに協力し合い、無事にゴール地点にたどりつくことができました。

普段経験することの無い4日間の研修でしたが、他職種の連携を考える良い機会になりました。研修で学んだことを今後の仕事に反映していきたいと思います。



地域医療連携室からのお知らせ

秋が深まり、インフルエンザが流行する季節が近づいてきました。高齢者の方などは重症化する恐れもあります。流行する前に予防接種を行ない、手洗いやうがいはもちろん、栄養と睡眠をしっかりとって予防に努めましょう。

当院でのインフルエンザ予防接種は、10月22日から12月20日までの実施となっております。一般の方は1回4320円、65歳以上の方は1000円となります。また、予防接種は予約制となっておりますので、ご希望の方は事前に医事室（内線4311）までお問い合わせください。

診療援助日程 12月

青森県立保健大学 リウマチ科
渡部一郎教授 12月4日(火)、11日(火)、18日(火)
26日(水)
東北大学 リハビリテーション科
上月正博教授 1月25日(金)(12月は無し)
東北大学 呼吸器外来
山谷睦雄教授 12月11日(火)
山形県立保健医療大学
平山和美教授 12月12日(水)

診療時間、日程等が変更になる場合があります。また次回以降については、地域医療連携室またはホームページにてご確認ください。

地域医療連携室 0178-45-3421
医事課 0178-45-6111(内線)4301・4311

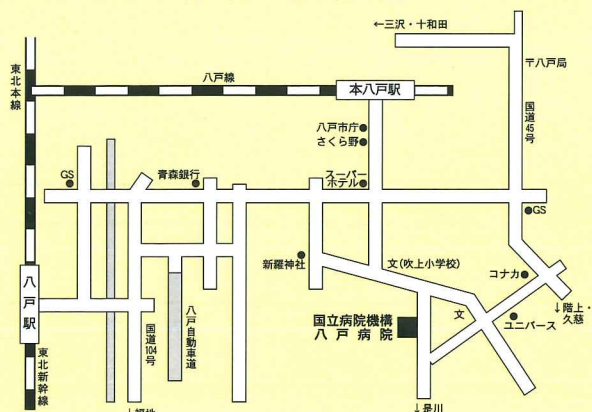
● ● 外 来 担 当 医 表 ● ●

11月30日現在

診療科	月	火	水	木	金
内 科	関根 耕作 (午前)	関田 陽子 (月3回) 渡部 一郎 (月2回)	藺藤 順 (午前/予約) 関根 耕作 (午後)	関根 耕作 (午前)	安ヶ平 みどり(午前)
神経内科	三須 建郎 (午前/予約)				
小児科		神田 進 (午前)		神田 進 (午前・午後/予約)	
呼吸器外来					安ヶ平 みどり(午前)
リウマチ外来	リウマチ外来は下記診療援助日程のとおり。				

午前診療受付時間 8:30～11:00 午後診療受付時間 13:00～15:30 小児科外来 8:30～11:30
・ただし急患については受付いたします。 ・担当医師については変更されることがありますので電話にてご確認ください。

病 院 案 内 図



* バス利用の場合

- 1) JR本八戸駅より市営バス「是川団地行き」吹上栄町バス停より徒歩1分
- 2) JR八戸駅より南部バスで「八戸駅線」乗車「三日町」降車市営バス「是川団地行き」吹上栄町バス停より徒歩1分

* タクシー利用の場合

- 1) JR本八戸駅より10分
- 2) JR八戸駅より20分

編集後記

暑い、寒いと騒いでいたらもう年の瀬。
今更だが時の経つのが早く感じます。
年齢を重ねる事が原因とも言われていますが、一説には新たな経験をする事で遅くする事も可能だとか。時を遅くする経験を見つけない今日この頃。

H.S